

PFOS・PFOAって？

ー暮らしの中の化学物質をやさしく解説ー

現在も環境中に存在するPFOS・PFOAは、どのような物質であり、健康への影響はあるのか。市の状況や取り組みと共に身近な疑問にお答えします。

Q1 PFOS・PFOAとは？

A1 PFAS（有機フッ素化合物）の一種です。

PFASは、主に炭素とフッ素からなる化合物で、一万種類以上あるといわれています。PFOS・PFOAはその一種です。

昔は、フライパンなどの撥水・撥油加工に用いられるフッ素樹脂の製造の際にPFOAが使われていました。しかし、2013年末に企業の自主的な取り組みにより、使用は全廃されています。

現在は、健康影響の懸念から国際的な規制が進み、日本を含む多くの国で

Q2 人体・健康への影響は？

製造・輸入などが禁止されています。しかし、分解されにくい物質があるため、現在も環境中に残っています。歯磨き粉などで知られるフッ素（無機フッ素化合物）とは異なる物質です。

A2 不明な点が多いため調査や研究が進められています。

水質基準値を超えた国内の地域における健康調査では、他地域との明らかに傾向の違いは出ていません。一方で、健康への影響度は、国際的に整合性のとれた評価が確立されておらず、現在も研究が進められています。

Q3 体に入ったらどうなる？

A3 体外に排出されて徐々に減ります。

体に入った量が半分に減るまでの期間はPFOSでは平均5.7年、PFOAでは平均3.2年と報告されています。

Q4 国（環境省）の方針は？

A4 飲料水による摂取防止などに取り組んでいます。

環境省は、PFOS・PFOAの水質基準（合算で50ナノグラム／リットル以下）を設定し、水道事業者や専用水道設置者に基準の遵守と定期的な検査を義務付けています。

環境省資料（2024年8月「PFOS、PFOAに関するQ&A集」、2026年4月「PFOS・PFOAとは」、2025年3月「PFASハンドブック」）

最新情報は「環境省PFAS」で検索し、環境省HPをご覧ください。



安曇野市の上水道 PFOS・PFOAは不検出です

安曇野市の上水道は、水道法に基づき、本年度から各配水系などの給水栓でPFOS・PFOAの水質検査を年4回行っています。本年度の1回目の調査では全ての採取地で不検出となりました。今後も安心して水道水を利用いただけるよう、継続して水質検査を行っていくとともに、検査結果を市HPで随時公表します。

問上水道課 Tel71-2270



市役所の泡消火薬剤 (PFOA含有) は 適切に管理します

市役所地下駐車場の消火設備には、PFOAを含む消火薬剤が使用されています。消火薬剤が放出された場合には、的確・迅速に対応できる体制を整備していきます。また、経年により消火薬剤の交換が必要と見込まれる段階でPFOAなどを含んでいない消火薬剤への切替えを行う方針です。

問財産管理課 Tel71-2003



飲用井戸利用者の皆さん 定期検査をお願いします

飲用井戸を設置・使用する皆さんには、水道法の水質基準に準じた水質検査と適切な衛生管理が求められています。原則として毎年1回以上の水質検査をお願いします。また、PFOS・PFOAに限らず、水質汚染が判明した場合は、飲用は避け、市へ連絡をお願いします。

問環境・ゼロカーボン推進課 Tel71-2492

